

研究課題名：

新型コロナワクチンの重症化に対する有効性の検討

研究の目的と方法：

2019年12月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題となっています。2021年には複数の新型コロナワクチンが国内でも導入され、これらのワクチンは様々な研究において、高い発症予防効果を示しており、諸外国における初期の観察研究からは高い重症化予防効果が認められました。しかし、ワクチン効果に影響を与えうる変異株が複数見つかかり、ワクチン効果の減衰も懸念されています。そこで、本研究では、共同研究医療機関における診療録(カルテ)等の記録を用いて、新型コロナワクチンの重症化予防効果を検討します。本研究の結果は、新型コロナウイルス感染症対策に非常に有用な知見をもたらす可能性があり、社会的意義は非常に大きいと考えます。研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。この研究のために情報を提供するかどうかは、患者様の自由意思です。提供しないことにより不利益を被ることは一切ありません。その場合には、患者様本人、もしくはその代理人の方が入院された医療機関へお申し出ください。すでに学会発表や論文、報告書等として公開された結果については撤回しかねますのでご了承下さい。

研究の対象者及び対象期間：

2021年4月1日～2024年12月31日に各医療機関に入院された方。

研究に利用する試料・情報：

各医療機関のカルテ等に記載のある臨床情報(年齢、性別、ワクチン接種歴等)を収集します。ワクチン接種歴等カルテ等に記載がない場合は、確認のために医療機関の担当者等から本人・親族に連絡がある可能性があります。国立感染症研究所には個人が特定されないように匿名化された情報が送られ、解析されます。

情報を利用する共同研究機関・情報の提供のみを行う機関および各機関における研究責任者：

- ・かわぐち心臓呼吸器病院(責任者:竹田晋浩)
- ・奈良県総合医療センター(責任者:安宅一晃)
- ・相模原協同病院(責任者:菊地斉)
- ・千葉大学医学部附属病院(責任者:服部憲幸)
- ・聖マリアンナ医科大学(責任者:吉田徹)
- ・紀南病院(責任者:中野好夫)
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院(責任者:杉田学)
- ・秋田赤十字病院(責任者:藤田康雄)
- ・上尾中央総合病院(責任者:神部芙美子)
- ・大阪市立総合医療センター(責任者:中河秀憲)
- ・東京警察病院(責任者:金井尚之)
- ・横須賀市立うわまち病院(責任者:岩澤孝昌)
- ・東京都立多摩総合医療センター(責任者:清水敬樹)
- ・東京都立広尾病院(責任者:三輪慎)
- ・大阪急性期・総合医療センター(責任者:藤見聡)
- ・関西労災病院(責任者:高松純平)

・八尾徳洲会総合病院（責任者：緒方嘉隆）

研究全体の管理責任者：

国立感染症研究所 感染症疫学センター 鈴木 基

お問い合わせ先：

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

国立感染症研究所

新城 雄士

TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189